

第8回 ^{とみやま}富山遺跡 (町庭坂)

富山遺跡は庭坂小学校の北西約2kmにあり、吾妻山のふもとの東側に張り出した丘陵上(標高約300m)に位置しています。

平成7年の発掘調査では64棟もの竪穴住居跡がせまい範囲から見つかり、ここに縄文時代早期の終わり頃(約6,000年前)の集落があったことがわかりました。竪穴住居は重なりあっていることから、同じ場所で何度も建て替えられたものと思われ、同時に存在した住居は数棟程度の小さな集落でした。

竪穴住居は長さ・幅がそれぞれ3m程度の小さなもので、ひと家族が住むのがやっとでした。遺跡のある場所は現在の集落から離れていますが、動物を狩ったり木の実を拾ったりするには都合の良い場所で、縄文人たちにとっては便利で生活しやすい場所だったと考えられます。



発見された縄文土器は貝殻で文様がつけられているものでした。



住居一軒の大きさは畳4~6畳分ほどで、床で火をたいた跡がのこる住居もありました。



用語解説

宮畑 1号墳～3号墳

宮畑遺跡の南側駐車場では、古墳時代後期(いまから約1400年前)の古墳3基が見つっています。いずれも墳丘は残っていませんでしたが、1号墳は墳丘(土を盛った部分)の直径が1.8mの円墳で、石室の石が崩れた状態で残っています。2号墳は直径約1.1m、3号墳は直径約1.2mの円墳ですが、2号墳は石室の敷石が残っており、そこから青いガラス玉が20点ほど見つっています。

1号墳はその場で保存されており、駐車場の南西隅に現在でも見ることができます。



宮畑 1号墳



保存された宮畑 1号墳



宮畑 2号墳と出土したガラス玉



編集後記

▲放射能で汚染された「じょーもぴあ宮畑」の除染作業がこの3月終了しました。除染が終わったからといって、手放しで喜ばないところが放射能問題の悩ましいところですが、ともかく再出発です▲あの「3・11」からもう2年半が経ちました。3月11日はともかく、一週間後、10日後のこととなるとさっぱり思い出せない。県の「健康管理調査」では、一時間単位で、どこにいたか、移動は車か徒歩か、3月中の食事も思い出し記入することが必要です。風化よりも先に記憶の劣化が激しい▲せめて体感し実感した人たちはしっかりと記録し、次の世代に語り継ぐことが大切なことなのではないでしょうか。放射能で汚染された縄文遺跡も貴重な文化財の歴史記録です。

みやはた **じょーもぴあ宮畑** だより
 第9号
 平成25年9月

発行：じょーもぴあ・遺跡の案内人
 編集：じょーもぴあ・遺跡の案内人
 じょーもぴあ宮畑だより編集班

事務局：福島市教育委員会 文化課
 ☎960-8601 福島市五老内町3番1号
 ☎024-535-1111 内線5375・5376

☆「じょーもぴあ」とは、「縄文時代を身近に感じられるユートピアのような場所」の意味です。

整備の様子をのぞいてみよう 第7回

じょーもぴあ宮畑の除染作業が終わりました

宮畑遺跡は平成24年度に除染作業を実施しました。表土のすき取り、樹木、建造物、設置物の高圧洗浄、復元建物の茅葺き屋根の葺き替えなどを行い、園内全域の除染工事は平成25年3月に完了しております。

除染前の空間線量1.52マイクロシーベルトは除染後には0.14マイクロシーベルトに低減し、安心して利用できる状況となっております。

また、平成24年度には新たに掘立柱建物1棟(2号掘立柱建物)、竪穴住居が復元され、北側の多目的活用地区の遊具類が整備されました。

このほかに、露出展示の雨水対策として暗渠排水設備を設置しました。

これらは今秋に部分開園の予定です。詳しくは2ページをご覧ください。



○掘立柱建物

新たに2号掘立柱建物(写真右)が復元されました。1号掘立柱建物同様の高床をもちます。また、1号・5号・10号掘立柱建物は除染のために屋根をすべて葺きかえています。



○多目的活用地区

木立ちに囲まれた芝生広場にはブランコや滑り台、ターザンロープなどの遊具、直火広場が整備されており、ご家族連れやグループなどで様々な楽しみ方ができます。



○竪穴住居

複式炉とよばれる大形の炉をもつ縄文時代中期の住居を復元しました。発掘調査の成果をもとに、屋根は樹皮の上に土をのせた土屋根で復元しています。

じょーもぴあ宮畑の環境放射線測定値 市ホームページで最新の数値がみられます。<http://www.city.fukushima.fukushima.jp/>
 じょーもぴあ宮畑は平成24年度に除染工事が完了しています。
 現在の線量 0.14マイクロシーベルト/時間(8月13日) ← 除染工事前の線量 1.52マイクロシーベルト/時間(平成23年9月4日)

10月6日からじょーもぴあ宮畑を部分開園します

10月6日からじょーもぴあ宮畑を部分開園します

じょーもぴあ宮畑は平成27年度オープン予定ですが、それに先立ち今年の10月6日から公園区域を部分開園し、縄文時代の復元建物の見学、子供遊具・芝生広場・駐車場などが利用できるようになります。



じょーもぴあ宮畑まつりを開催します

10月6日にはじょーもぴあ宮畑の部分開園を記念して、じょーもぴあ宮畑まつりが行われます。

- 日時／平成25年10月6日(日) 午後1時30分から午後4時まで
- 会場／じょーもぴあ宮畑現地(福島市岡島字宮畑地内)
- 参加費／無料(物産販売のみ有料)

■内容／

- 開会式
- 縄リンピック 縄文時代にちなんだ種目で競争をします。
- 草むしりリンピック チーム対抗戦で、決められた区画の草むしりのきれいさを競います。
- 縄文生け花 縄文土器に生け花を活けて展示します。
- 縄文物作り 勾玉ストラップ作り
- 屋外展示解説 じょーもぴあ宮畑の現地を案内ガイドします。
- 土器焼きと縄文料理 宮畑縄文人養成講座の受講生が製作した土器の野焼きをします。
- 物産販売 東部地区の物産品、復興祈願品を販売します。

宮畑遺跡整備室長よりひとこと

じょーもぴあ宮畑は平成24年度には園内の除染工事が完了し、安全・安心な公園として市民の皆様にご利用いただくことができるようになりました。平成27年度の全体オープンに向けて、今後も、体験学習施設や多目的休憩棟の建設工事が行われますが、市民との協働により観光振興・まちづくりの取り組みを進め、縄文の魅力と歴史的意義を全国に向けて発信して参りたいと考えております。

(福島市教育委員会教育部次長兼宮畑遺跡整備室長 斎藤房一)

じょーもぴあ・遺跡の案内人の活動紹介

平成25年4月4日に開催されたじょーもぴあ・遺跡の案内人総会により今年度の事業が以下の通り決定しました。

平成25年度は新規会員12名が加入し、55名で活動を行っています。

ガイド事業

イベントの際にじょーもぴあ宮畑の案内ガイドを行います。今年は、9・10・11月に案内ガイドを行います。

体験サポート事業

縄文探検隊やじょーもぴあ宮畑まつりなどで、縄文体験のサポートを行います。学習センターでの文化祭等でもサポートを行います。

ワークショップ事業

昨年好評だったワークショップ『アングイン編み講座』を開催します。今年は初級編と中級編の2回です。



平成24年度ワークショップのようす

スキルアップ研修事業

さまざまな事業を円滑に行い、かつより良いものにしていくために、縄文文化や福島を学ぶ研修を計画的に行い、オープンカレッジを開催します。

じょーもぴあ・遺跡の案内人



私たちがお迎えします！

宮畑遺跡の発掘から整備まで

第7回「平成9年度の調査④」

平成9年度に福島工業団地の第6期工事とともって実施された宮畑遺跡の3次調査の成果について、4回目の今回はそこで見つかった遺物について述べたいと思います。

平成9年度の調査では、プラスチックコンテナおよそ900箱分の資料が出土しており、その大半が縄文土器です。



縄文土器の収納状況

縄文土器は、複式炉とよばれる住居内の炉跡に埋められていた中期の土器や、縄文時代後期の後半から晩期にかけての「埋甕」とよばれる小児墓に使われた土器として見つかりました。



縄文時代中期の土器

縄文時代中期の土器

また、矢じりや打製石斧や磨製石斧などの大量の石器のほか、投網につける土製のおもり(土錘)など生業に関わる道具や土偶や石棒などの信仰にかかわる道具もみつかりました。



投網のおもりと矢じり

道具や土偶や石棒などの信仰にかかわる道具もみつかりました。